

第3回新居浜港長期構想検討委員会 資料



令和8年8月31日
新居浜港務局(新居浜港港湾管理者)



新居浜



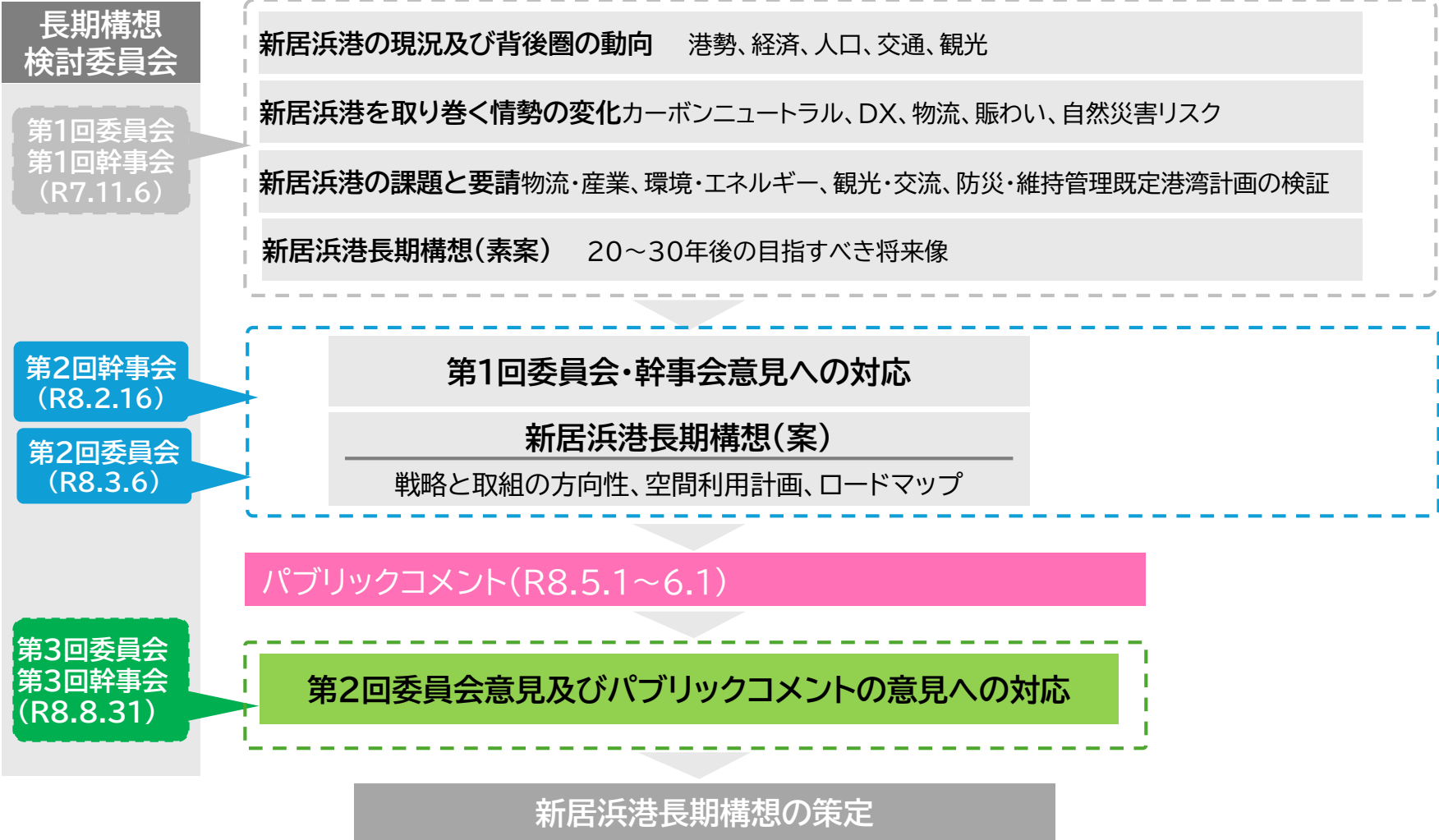
1.新居浜港長期構想検討委員会について

新居浜港長期構想検討委員会について

新居浜港長期構想検討委員会の役割

- 委員会は、新居浜港を取り巻く情勢の変化や新居浜港に対する諸要請、また今後、新居浜港が果たすべき役割等を踏まえ、今後20～30年先(令和22～令和32年代)を目標とする中・長期的視点に立った総合的な港湾空間の形成について検討し、港湾管理者へ助言、指導を行う。

新居浜港長期構想の検討の進め方





2.第2回新居浜港長期構想検討委員会での意見と対応(案)

第2回新居浜港長期構想検討委員会での意見と対応

No.	意見概要	意見に対する回答・対応
1	【学識経験者】 充実して整理された資料になっている。港湾計画の策定に向けて具体的な検討を進めていただきたい。また、港湾計画だけでなく、新居浜市の各種計画にもフィードバックするような取組も進めていただきたい。	長期構想を踏まえ港湾計画改訂に向けて、関係者と連携して行う。
2	【学識経験者】 一般的に市民から見た時に、港湾整備の地域経済へ与える重要性を理解していただけないことが多々ある。可能であれば、港湾整備が新居浜市民の生活にどう結びつくのか、補足や説明があるとその構想の意義が理解されるのではないかな。	長期構想公表時に、港湾整備が地域経済に与える重要性について、市民等にわかりやすく説明できるよう、引き続き検討を進める。
3	【学識経験者】 長期構想を実現させるための第一歩について資金確保について言及頂けるとより良いと思う。可能であれば、長期構想の情報発信の際に留意いただけるとありがたい。	長期構想の実現に向けては資金確保が必要であるため、中長期的に資金拠出等を確保する枠組みの検討や、民間資金等を活用した官民連携事業の推進等、安定的・継続的な財政確保を図るよう調整を進める。
4	【港湾関係者】 菊本沖の整備を進めることにより災害土砂や河床掘削土砂の受け入れ先が出来ることで防災・減災に寄与するとともに、コスト縮減となる。ぜひ推進していただきたい。	菊本沖の港湾整備事業について、積極的に推進する。
5	【港湾関係者】 この計画が後々東予圏域を全て網羅するような湾岸防災道路というような位置づけに繋がっていくことを期待する。	近隣市町村の安全安心に貢献できるよう、計画実現に向け推進する。

第2回新居浜港長期構想検討委員会での意見と対応

No.	意見概要	意見に対する回答・対応
6	【港湾関係者】 「内航船に採用された新規就業者数の推移」に関して、水産高校、六級海技士養成課程からの新規就業者を含めた資料があるので更新いただきたい。	海技人材の確保のあり方に関する検討会中間とりまとめ 資料編のデータに差し替え 本編 P63 図5.17
7	【港湾関係者】 地区間を結ぶ港湾物流道路の整備のロードマップにおいて、整備が長期からとなっているが、実際に道路網が一番急務な課題ではないかと感じている。もう少し予定を全体的に早めていただきたい。	新居浜市における課題と認識しており、課題解決に向け関係部局と連携して対応する。
8	【港湾関係者】 この計画以外に、船舶の大型化に伴う規制など、企業の不利な条件とならないようなことも、競争に勝って繁栄していく重要なポイントと思う。そういう観点も必要。	背後企業の活性化・競争力強化に貢献できるよう、推進していく。
9	【港湾関係者】 菊本沖の整備に関して、菊本沖のターミナルにアクセスする道路整備について言及されていないのが気になるため、対応いただければと思う。	菊本沖のターミナルへのアクセスに関して記載 本編 P97
10	【港湾関係者】 資料2のP43の防災関連に関して、大規模災害時において陸側の輸送網が閉塞して、海上から資材の供給をするとなった場合、港に備蓄ができる機能を織り込んでいたら効率的な対応ができるのではないか。	具体的な取組②で備蓄機能を含めた整備について文章追記。 本編 P113

第2回新居浜港長期構想検討委員会での意見と対応

No.	意見概要	意見に対する回答・対応
11	【港湾関係者】 ・ IT関連では、ヘッドだけではなく、シャーシにもGPSの機能をつけ位置管理を行うことも検討している。また、ナンバー読み取り機を設置し、人件費削減にも取り組む予定であり、変化に対応していきたい。 ・ 災害時のフェリーの役割についても言及いただきたい。	・ 物流におけるIT関連の対応について、港湾管理者としても積極的に推進を図る。 ・ 災害時のフェリーの役割について、本編P48に「緊急物資輸送を垣生第1岸壁(-7.5m)で行うことを記載済み。
12	【港湾関係者】 船の大型化に対応するための岸壁整備も計画にあり、この岸壁が整備されたときの地区の道路網、物流網が同じようにしっかり整備されていくことが大切である。それにより、新居浜に住む皆さんにとっても生活がしやすくなる。また、防災の観点でも道路もが整備されることによって、新居浜の方が安心して暮らせるようになる。ここに力点を置いているのは間違っていないと思う。	地元住民の生活利便性の向上に貢献できるよう港湾計画改訂の検討を進めていく。
13	【港湾関係者】 菊本沖の岸壁整備とそこへのアクセス道路については、どうすべきか社内でも検討したい。	港湾計画改訂の検討時には関係者と調整を密に行う。
14	【行政機関】 菊本沖の整備が今回の長期構想の目玉になると思う。次世代エネルギー、バルク貨物、RORO貨物の3つの機能を盛り込んでいると思うが、実際のレイアウトを描くときは必要なスペースを考慮して検討いただきたい。	港湾計画改訂時においては、これら3つの必要施設面積を算定した上で施設配置計画（レイアウト）の検討を行う。

第2回新居浜港長期構想検討委員会での意見と対応

No.	意見概要	意見に対する回答・対応
15	【行政機関】 前回計画と今回計画で同じゾーニングでも微妙に範囲が異なっている部分があるが、意図があるのか。将来実施したい整備がゾーンに含まれているかどうかはよく確認いただきたい。	将来的な整備を考え、前回計画から一部の地区でゾーニング範囲の変更を行っている。
16	【行政機関】 クルーズ船誘致の記載もあるが、実際に誘致される場合は、それなりに準備が必要なので、可能な限り前広に関係機関に相談いただきたい。	クルーズ船誘致の際には関係機関と密に調整を行う。
17	【行政機関】 新たな産業用地の確保で、黒島沖の埋め立てについて関係機関と協議は整っているか。	具体的な取組内容から削除 本編 P98 東港地区、黒島地区、沢津・垣生地区のゾーニング図を修正 本編 P121
18	【行政機関】 委員会について、もう1回、3回目を実施したほうが良いと思う。もう少し丁寧な進め方を検討してほしい。本日の議論の中でも修正につながる意見もあり、今後、パブリックコメントでも意見が出ることも想定される	前回委員会以降に行った資料修正内容の説明、新居浜港長期構想（案）の最終版として、第3回委員会・幹事会を開催する。



3.パブリックコメントの意見と対応(案)

パブリックコメントの意見と対応

No.	意見概要	意見に対する回答・対応
1	東西の強制水域に挟まれ新居浜入港にはコストがかかる。条件付き（年間の貨物の取り扱い量等）で補助金や税金の控除を	入港関連コストについて、改めて実態を把握すると共に、利用者等の、ご意見もしっかりとお聞きしてまいります。
2	船の生活ごみ（燃えるゴミや空き缶、ペットボトル）を無料か安価で処理できる手段。	利用者等の、ご意見もしっかりと、お聞きして港湾環境の改善に努めてまいります。
3	仮バースができる場所の付近にゴミ処理や自由に使える給水設備、食事場所、簡易宿泊設備（乗下船する船員本人や家族用）の設置。そこには船員用手荷物を預かる設備も	具体的な施設の整備等につきましては、ご意見を参考に、関連計画等と整合を図りながら、今後検討を進めてまいります。
4	新居浜港の活性化に向けては、まず港が浅いという課題に対応し、浚渫などにより水深を確保することで大型船の入港を可能にすることが重要である。	本構想で示す「強く、しなやかで、暮らし・産業を支える強靱な新居浜港」の実現に向けた取組の方向性である「港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進」に基づき、持続的な港湾の機能維持、長期的なコスト削減、安全確保を図られるよう、港湾管理者として対応してまいります。
5	大型クレーンなど荷役設備を整備し、作業効率の向上を図る必要がある。	

パブリックコメントの意見と対応

No.	意見概要	意見に対する回答・対応
6	三島川之江港との機能分担も踏まえつつ、住友関連貨物の取扱い体制の見直しや役割整理を検討すべきである。	近隣港湾との役割分担や貨物の取扱い体制、人材確保、新居浜港の競争力強化と取扱量拡大について、本構想で示す「臨海工業・地域経済の持続的発展と国内外のシームレスな物流を支援する新居浜港」の実現に向けた取組の方向性である、戦略Ⅰから戦略Ⅴに基づき、新居浜港が発展するよう取組を進めてまいります。
7	人材確保のため、地元企業や学校と連携し、就業支援や資格取得支援を強化することが求められる。	
8	市と住友が連携し、新たな貨物や物流需要の創出に取り組むことで、新居浜港の競争力強化と取扱量の拡大を図るべきである。	
9	課題⑬について、日本では地震（南海トラフ地震）、台風、豪雨、今後の猛暑への対策として、学校、公共施設の耐震化の強化、堤防や排水設備の見直しや強化、津波が起きた時の避難路の整備見直しの徹底、防災無線の確立など、今後に備えて災害に強いまちづくり、環境負荷の少ない社会づくりをお願いします。	課題⑬として、新居浜港港湾BCPの徹底と更新、訓練の実施など、本構想で示す「強く、しなやまで、暮らし・産業を支える強靱な新居浜港」の実現に向けた取組の方向性である「災害時でも安全・安定的な機能を保持し、産業や生活を守る港湾の強靱化」に基づき、新居浜港を利用する人々や地域住民に安心感を与える港を形成するよう取組を進めてまいります。

パブリックコメントの意見と対応

No.	意見概要	意見に対する回答・対応
10	課題⑦に対して、現状東港地区のトイレに関して、マリ ンパーク、フェリーターミナル、多喜浜ふれあい公園な どにしかない。垣生第4岸壁で港湾荷役作業をしていて、 トイレが近くにないので緊急時に非常に困っている。 (特に女性) 今後、港湾労働者も男性だけでなく女性も働く可能性も あるので、トイレの設備環境を整えてもらいたい。水洗 トイレを要望したいですが、無理であれば河川敷にある 流れるトイレを要望します。	本構想で示す「臨海工業・地域経済の持続的発展と国内外 のシームレスな物流を支援する新居浜港」の実現に向けた 取組の方向性である、「次世代への技術継承・育成及び魅 力ある労働環境の整備」に基づき、港湾労働者が働きやす い港づくりに取組んでまいります。
11	政府は「造船業再生ロードマップ」(2025/12/26策 定)により、日本の造船復興を目標としました。造船業 で使用するジブクレーンの製造は、新居浜の住友重機械 搬送システム(株) 殿が大きなシェアを持っています。 住友重機械工業(株)は検討会に参加していないが、意見 を伺うべきではないか？ 長期構想実現にあたり、現存設備の維持と改良も必要 です。特に東港地区のコンテナヤード設備等の荷役機械、 市営上屋、岸壁の改良は短期間での実施が理想です。	新居浜周辺には、日本成長戦略17分野である「造船」や 「港湾ロジスティクス」に関係する企業が立地しており、 政府方針を踏まえ、港湾管理者として必要な取組を進めて まいります。 本構想で示す将来像の実現に向けて、関係者と密に連携を 図り、進化し続ける港を目指し取組を進めてまいります。